

Discovery H. S. Kanzaki

ディスカバリー

ハイ スクール

カンザキ

2021. 9. 7

第475号

兵庫県立神崎高等学校

TEL 0790-32-0209



夢を発見し実現できる学校

校内球技大会

七月四日(水)に、夏季校内球技大会が行われました。種目は、九人制バレーボールとキックベースです。一学期を締めくくる学校行事として最後まで優勝目指して力を振り絞っていました。

バレーボールは、A・B両リーグとも白熱した戦いが繰り広げられました。決勝に進んだのは三年一組と三年二組でした。同点、逆転のシーンがたくさんあり、非常に盛り上がりしました。最後は三年二組が三年一組を突き離し、優勝しました。三位には二年二組が入り健闘しました。キックベースボールは、天気が心配な中、どのクラスも力を出し切り、熱戦の連続でした。雷雨の影響により途中で試合を中断しました。そのため、優勝は三年二組と二年二組の二チームでした。三位は三年一組でした。バレーボール、キックベース共に三年生が優勝し、最高学年としての意地が見られた球技大会でした。



進路ガイダンス

七月十九日(月)、全校生徒を対象に第二回進路ガイダンスが実施されました。恒例の「朝の読書」のあとのHRで、生徒たちは志望動機や質問項目を考え、説明会の準備を整えました。

学校別説明会では、大学・短大が十八校、専門学校が二十六校、看護専門学校が二校参加、前半、後半の二講座で、学校の特徴や学びの内容、施設設備の説明にとどまらず入試情報についても、少人数を対象に詳しく説明していただきました。就職説明会は、各学年に分かれ就職対策講座が実施され、三年生は就職試験を九月に控えて、より実践的な内容を教えていただきました。一、二年生は自分の可能性を広

げ、幅広く進路を考える時間を設けていただきました。コロナ禍でオープンキャンパスに参加する機会がめっきり少なくなりました。実際に学校や職場を訪問することはできませんが、この進路ガイダンスが、自分と向き合い、進路を開拓し、さらに実現していく契機となることを願ってやみません。



自転車競技部 インターハイ報告

八月一日(水)～三日(月)まで福井県にて行われた高校総体(インターハイ)に自転車競技部四名が出場してきました。天候不順が心配されていましたが、会場付近は天気の大きな崩れもなくよいコンディションで出場することがで



きました。結果は西川奏くんが4位入賞、速度競争で四位入賞、松岡智耶くんもポイントレースにて準決勝進出と全国の舞台でも力を発揮させることができました。多田翔飛くんは惜しくも予選敗退となりましたが、自己ベストタイムを大きく更新するなど、今後への期待が持てる結果となりました。三年生メンバーはこれで引退となりますが、これまでの頑張りの集大成ともいえる走りをし、大きな成果を得られた大会となりました。一、二年生メンバーは次の全国選抜大会でさらなる飛躍を遂げられるように頑張ってくださいと思います。

<一粒万倍>

9月1日(水)、2学期がスタートしました。42日間の長い夏休みを終え、生徒たちが元気に登校してくれたことを嬉しく思います。緊急事態宣言下での始業式となりましたので、密集を避けてオンラインで実施しました。コロナ禍ではありましたが、夏休み中の部活動において、運動部、文化部ともによく頑張り、立派な成果を上げてくれました。自転車競技部は、福井県で開催されました全国高等学校総合体育大会(8月18日(水)～23日(月))に4名の生徒が出場し、3年西川 奏くんが4位入賞、3年松岡 智耶くんが準決勝進出、2年多田 翔飛くんが自己ベストを更新するなど全国の舞台で輝かしい成績を収めてくれました。その他、運動部ではソフトボール部が西播夏季リーグ戦で第2位、文化部では吹奏楽部が吹奏楽コンクール西播大会で銀賞を受賞、書道部が弘法大師奉賛高野山競書大会において8名の生徒が特選を受賞、ボランティア部が公益財団法人風に立つライオン基金から日々の活動の努力と成果を讃えて表彰されるなど、多くの生徒たちの活躍が目立ちました。夏の暑さとコロナ対策を講じながら頑張った生徒たちに拍手を送りたいと思います。2学期のスタートに当たり、1人ひとりが感染防止対策をしっかりして、安心して学校生活を送れるよう、学校におきましても細心の注意を図りながら教育活動を行いますので、保護者の皆様、地域の皆様、2学期も引き続きよろしくお願いたします。最後になりましたが、自転車競技部の全国大会出場に際しましては、神河町役場等に横断幕を掲げていただき、ありがとうございました。地域の方々の応援が生徒たちの大きな力となりました。本当にありがとうございました。